		T = 3/	ことばと元気がでることば の命を地域で守る		
言葉によって人を元気づけたり、傷つけたりすることがあることを学ぶ。 ヒヤリハットマップを子どもと一緒につくり、地域で子どもの命を守る。					
	Ì	指導のポイント	事前	学習・体験	事後
	小学校低学年		事前 【先生の準備】 ・心理的虐待について調べ、教員自身の言葉かけや態度について見直す。 ・危険な場所と安全避難場所を確認する。 ・校区内地図を準備する。 ・子どもの交友関係をよく把握しておく。 【教育課程上の位置づけ】 ・生活 ・道徳 【子どもたちの準備】 ・子ども駆け込み110番等、地域の協力家庭や店を調べる。 ・通学路や遊び場所近くの駆け込み110番の家や店にあいさつに行く。 ・地域の人々にあいさつをする習慣をつける。	学習・体験 【 】 ロールプレイング ・困っている方に声かけをする場面を擬似体験する。 「ありがとう探検隊」・学校生活を探す。 ・学校画を探す。 「どんなきもちかな?」・怒り・悲なの表情絵を用いて、「どんなはことばをとったられななことがのはどんならる。 【 】 ヒヤリハンになる。」と質問する。 【 】 ・地域のう。・・地図づくり・地域のう。・・地図づくりをする。 ・・地図づくりをする。 ・・カムない人から声をかけられたらどうするが話し合う。	【子どもたちの予想される心の動き】 ・ことばってとっても大切なんだ。 ・「どうしたの?」と言ってもらって、ホッとした。 ・相手を傷つける、言ってはいけない言葉があるんだ。 ・カッとしたら心を落ち着けるおまじない。 ・自分の命は、しっかり守るぞ。 ・「いやです」「やめてください」を大きな声で言おう。
				X2270.00001	